

📅 3月9日 KKR ホテル熊本

平成26年度市町村国保運営協議会委員並びに国保主管課長等合同研修会

国民健康保険制度の改革に向けて



公益社団法人国民健康保険中央会の柴田雅人理事長を講師に迎え、市町村の国保運営協議会委員146人と国保事務担当職員など59人、計205人が参加し開催された。

まず、主催者である熊本県国保運営協議会会長連絡協議会の江藤正行会長があいさつに立ち、参加者の国保制度運営への尽力に対し敬意と感謝の言葉を述べた。



講演を行う柴田氏

そのあと、柴田氏が「国保をめぐる諸情勢について」と題し、国民健康保険の都道府県化に向け、国保基盤強化協議会の現状を交えて講演した。その中で柴田氏は、国保の都道府県単位化がどのような流れの中から出てきたのか、社会保障・税一体改革で目指す将来像や消費税の段階的な引き上げによる増収分の使い道などについて、改革のポイントや方向性を示すとともに、研修会参加者の多くが市町村の国保運営協議会委員であることから、熊本県内における医療費格差、所得格差、保険料格差などについて、具体的に市町村名を挙げながら、わかりやすく説明した。

📅 3月10日 熊本テルサ

平成26年度第2回熊本県保険者協議会会議

平成27年度事業計画・予算を決定

熊本県保険者協議会構成団体の代表者17人が出席して開催された。田端高志会長（熊本市健康福祉子ども局長）の挨拶に続き、同会長を議長に審議が行われた。

まず、平成27年度集合契約の単価について27年度の代表保険者である公立学校共済組合の笠護氏（同組合事務局次長）から報告され、続いて、26年度の保健事業部会、医療費分析部会の活動について各部会長から報告された。また、26年度の各構成団体の負担金について、事務局から報告した。

引き続き、平成27年度の事業計画や歳入歳出予算の審議に移り、保健事業部会からは特定健診・特定保健指導担当初任者研修会と医療費適正化に向けた学習会の開催、特定健診受診啓発ポスターの作製・配布など、医療費分析部会からは医療費・健診データの集計と分析、集計データを用いたグループワークの実施などの活動計画が示され、審議の結果すべて議案どおり承認された。

📅 3月20日 市町村自治会館

第20回熊本県国保地域医療学会運営委員会

特別講演講師候補の絞り込みなど 第20回の記念学会の概要を決定

主催者である熊本県国保診療施設協議会・熊本縣市町村保健師協議会・本会と、後援団体である熊本県などから、運営委員16人が出席して開催された。

志垣信行学会長（和水町病院事業管理者兼国保和水町立病院長）の挨拶に続き、同学会長を議長に、日程や内容などについて審議が行われた。

主な決定事項は次のとおり。

【開催日】平成27年10月31日（土）

【会場】熊本テルサ（研究発表は2会場で実施予定）

【内容】研究発表（口演のみ）と特別講演の2部構成

内容についての審議の中で、研究発表では毎回、最優秀者を翌年の全国国保地域医療学会に派遣しているが、今回は記念学会ということで、優秀者若干名も併せて派遣することになった。

特別講演でも、記念学会であることを踏まえて講師選定を行うこととし、アンケート結果や事務局の事前調査などから候補に挙げられた8人を投票で5人に絞り込んだ。（今後、事務局が得票上位者から順に交渉して講師を決定する。）



📅 4月23日～24日 KKRホテル熊本

国保連合会九州地方協議会 事業担当課（部）長・保健師会議

各県の事業実施状況や課題などについて情報交換

本会議は九州各県の国保連合会が毎年持ち回りで開催しているもので、今年は熊本県で開催した。

全体会と課長・保健師それぞれの分科会を開いて、事業実施状況の報告、事前に提議された課題に対する各県の状況についての情報交換などを行った。



課長分科会



保健師分科会

課長分科会では、主に、今後データヘルス計画を策定・実施する保険者を支援していく中で、基になるKDBシステムに引き続き不具合が発生していることから、国保中央会の最新資料で保険者への対応などを確認した。

保健師分科会では、主に、昨年度から全国の国保連合会に設置された「保健事業支援・評価委員会」の具体的な運営方法、KDBシステムの活用支援の状況などについて情報交換を行った。評価委員会については、各県で委員構成が全く異なり、委員会の進め方や検討内容もそれぞれであった。ただ、共通した課題として、限られた時間の中で各委員からどれだけの意見を引き出せるか、支援を希望する保険者数も多いため、その進め方に大変苦慮している状況が感じられた。